

# 余ってませんか。もったいない食品大募集!!

## 【ご家庭から】

フードバンクちばでは、家庭で余っている食品（保存可能な物）を募集しています。

### 寄付いただきたい食品

- 穀類（お米、麺類、小麦等）
- 保存食品（缶詰、瓶詰等）
- 乾物（のり・豆など）
- インスタント食品・レトルト食品
- 調味料各種、食用油
- ギフトパック（お歳暮・お中元等）
- 飲料（ジュース・コーヒー・お茶等）

## 【企業等から】

包材の破損や賞味期限間近などにより、廃棄する予定の食品（賞味期限1カ月以上）などがございましたら、ぜひご寄贈ください。条件等は別途ご相談させていただきます。



食品引き取りの様子  
遠方への引き取りも積み込みもスタッフが力を合わせて頑張っています。持ち込みいただける方、引き取りをお手伝いいただける方大歓迎です。

## ご寄付のお願い

フードバンクちばでは、みなさまのご寄付や協賛金を受け付けております。活動をご理解いただき、ご協力どうぞよろしくお願いいたします。ご協力には下記郵便振替口座をご利用下さい。

### ● 郵便振替口座

口座名義：**フードバンクちば** 口座番号：**00150-2-652117**

### ● ゆうちょ以外からの振込先

銀行名：ゆうちょ銀行 種別：当座 支店名：〇一丸店 口座番号：652117 口座名義：フードバンクちば

## お問い合わせ

ボランティア活動に参加してみたいという方を随時募集しています。またフードバンク活動についての詳細などお気軽にお問い合わせください。

☎ **043-375-6804** 平日 10:00~17:00 ☎ **043-242-8900**

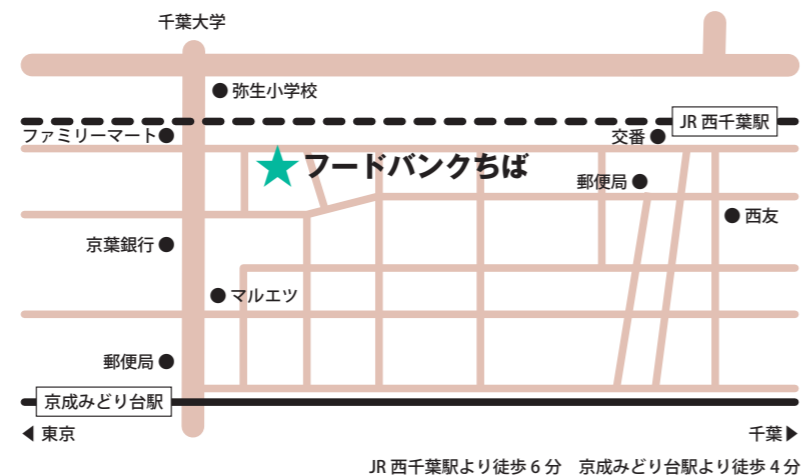
\*スタッフ不在の場合は、留守番電話にお名前とご連絡先電話番号をお話しく下さい。折り返しこちらからご連絡いたします。

✉ **fbchiba@jigyoudan.com**

💻 **http://foodbank-chiba.com** ブログ：**fbchiba.ko-me.com**



チャリティ用の缶バッジを作りました。ぜひご協力お願いいたします。



フードバンクちば ワーカーズコープちば 企業組合労働協働事業団 サポートセンターオアシス内  
〒263-0023 千葉市稲毛区緑町1-25-11 コーポ立花101

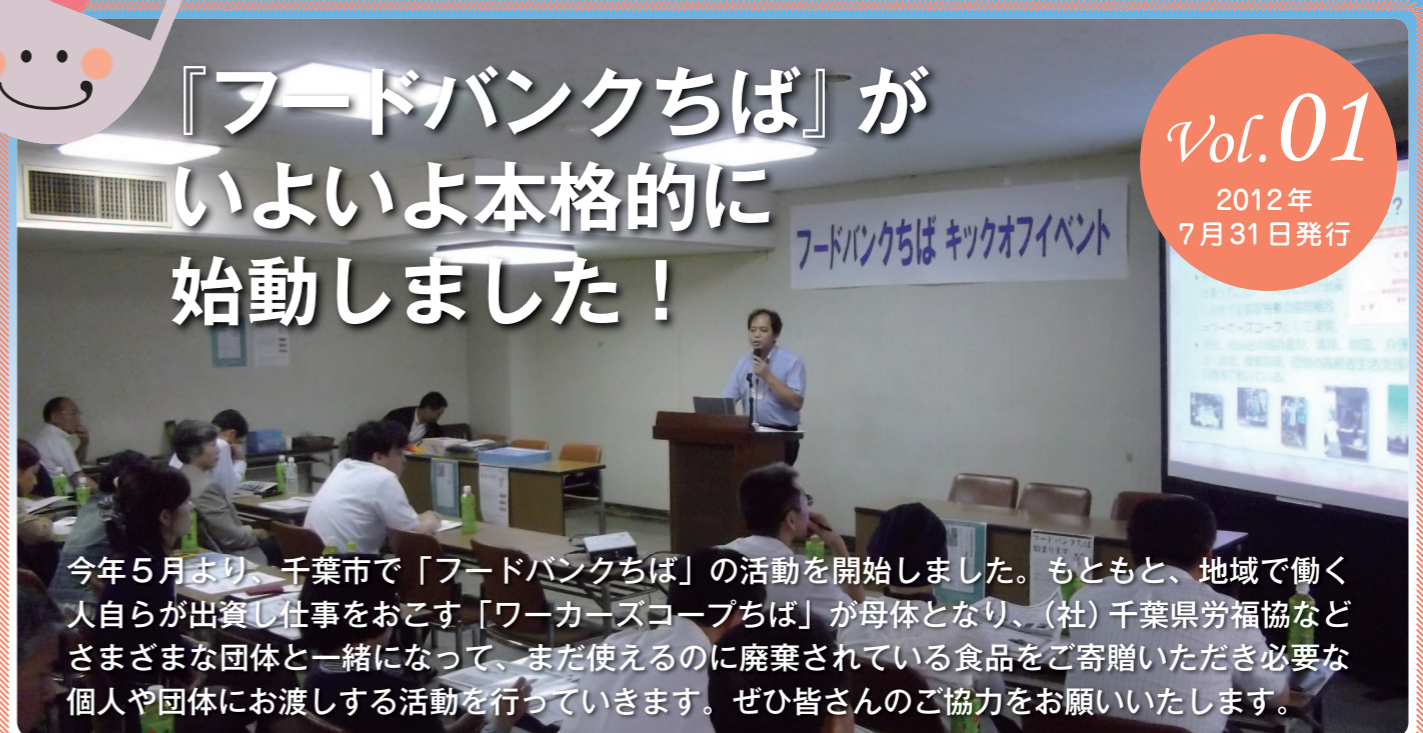
# フードバンクちばは通信

フードバンクちば（企業組合労働協働事業団：サポートセンター「オアシス」内）〒263-0023 千葉市稲毛区緑町1-25-11 コーポ立花101

## 『フードバンクちば』がいよいよ本格的に始動しました！

Vol.01

2012年  
7月31日発行



今年5月より、千葉市で「フードバンクちば」の活動を開始しました。もともと、地域で働く人自らが出資し仕事をおこす「ワーカーズコープちば」が母体となり、(社)千葉県労福協などさまざまな団体と一緒に、まだ使えるのに廃棄されている食品をご寄贈いただき必要な個人や団体にお渡しする活動を行っています。ぜひ皆様のご協力をお願いいたします。

### CONTENTS

- 1 「キックオフイベント」開催しました！
- 2 個人支援も始まりました！
- 3 西千葉でフードドライブを開催しました！
- 4 ソニーイーエムシーエス（株）より飲料水を寄贈していただきました。

まだ食べられるもったいない食品大募集!!  
ご寄付のお願い  
お問い合わせ

### 現在までの支援状況

2012年5月～7月までに提供した食品

<団体> 583kg

<個人> 15kg

内訳：お米・アルファ化米・パスタ・そうめん・ツナ缶・スナック菓子・飲料など

## キックオフイベントを開催しました！

NEW!

### キックオフイベントを機に『フードバンクちば』は事実上のスタートを切りました。

6月6日（水）13：30～中央区千葉港の千葉県労働者福祉センターの会議室にてフードバンクちば・キックオフイベントを開催しました。イベントには、運営主体であるワーカーズコープちばから10名以上、ホームレス支援団体や薬物依存からの回復を目指す団体、障がい者団体の方々、自治体労働組合、食品企業（ヤマサ醤油）、大学教員などさまざまな方面から計50名以上のご参加をいただきました。

イベントでは先日放送されたNHKの特集番組などを観ながら、10年前より東京でフードバンク活動を行っているNPOセカンドハーベスト・ジャパンの黒澤さんの報告で、フードバンクについての理解を深め、今後の活動方針についても話し合いました。災害備蓄食品（きのこご飯）の試食も行いました。また多くの方にご寄付もいただきました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

イベントについては、翌日の日本経済新聞（千葉版）と千葉日報に記事が掲載され、以下のお問い合わせが来ています。

- 県内の学校給食等に食品を卸している企業から食品提供の問合せ
- 市内でホームレス支援団体から食品提供要請
- 市原市のNPO団体から食品提供要請
- 千葉市で夜回りをしている団体から食品提供要請
- 千葉市内の個人からお米の提供の申し出
- 九州のワーカーズコープの事業所からもお米の提供の申し出



セカンドハーベストの黒澤さん



アルファ化米の試食風景



# ちば経済

## 「フードバンクちば」始動

福祉施設や生活困窮者へ 廃棄食品を無償提供



また食われるのに捨てられてしまう食品を生活困窮者や福祉施設に無償提供する「フードバンクちば」が始動。6日、千葉県中央区モリスオンラインセンターが開かれた。食に発生する食品の無駄を減らし、福祉に役立つ「ちば」の仕組みとして、期待が膨らむ。

千葉県食糧庁によると、500万〜900万トンの食品が廃棄されている。フードバンクは、廃棄される食品を回収し、福祉施設や生活困窮者へ無償提供する仕組みだ。千葉県では、千葉県フードバンク協会が中心となり、千葉県フードバンクちばが設立された。

千葉県フードバンクちばの発起人は、千葉県フードバンク協会代表理事の佐藤隆夫氏。佐藤氏は「フードバンクちば」の発起人として、千葉県フードバンク協会代表理事として活動している。佐藤氏は「フードバンクちば」の発起人として、千葉県フードバンク協会代表理事として活動している。

労働者に対する個別相談会を実施する。非正規雇用が増える中、早給や待機に関する悩みを抱える労働者が多い。労働者に対する個別相談会を実施する。非正規雇用が増える中、早給や待機に関する悩みを抱える労働者が多い。

## 「フードバンクちば」のキックオフイベント=6日、千葉県中央区の県労働者福祉センター

千葉県食糧庁によると、500万〜900万トンの食品が廃棄されている。フードバンクは、廃棄される食品を回収し、福祉施設や生活困窮者へ無償提供する仕組みだ。千葉県では、千葉県フードバンク協会が中心となり、千葉県フードバンクちばが設立された。

千葉県フードバンクちばの発起人は、千葉県フードバンク協会代表理事の佐藤隆夫氏。佐藤氏は「フードバンクちば」の発起人として、千葉県フードバンク協会代表理事として活動している。佐藤氏は「フードバンクちば」の発起人として、千葉県フードバンク協会代表理事として活動している。

## 廃棄される食品、必要とする所へ

まだ食われるのに商品にならないと捨てられる食品を譲り受け、無料で施設などに提供する「フードバンク」が、今月から千葉県でスタートする。農林水産省によると、県内の団体による活動は初めて、食品を提供してくれる企業やボランティアを募っている。

千葉県食糧庁によると、500万〜900万トンの食品が廃棄されている。フードバンクは、廃棄される食品を回収し、福祉施設や生活困窮者へ無償提供する仕組みだ。千葉県では、千葉県フードバンク協会が中心となり、千葉県フードバンクちばが設立された。

## フードバンク始動

千葉県食糧庁によると、500万〜900万トンの食品が廃棄されている。フードバンクは、廃棄される食品を回収し、福祉施設や生活困窮者へ無償提供する仕組みだ。千葉県では、千葉県フードバンク協会が中心となり、千葉県フードバンクちばが設立された。

千葉県フードバンクちばの発起人は、千葉県フードバンク協会代表理事の佐藤隆夫氏。佐藤氏は「フードバンクちば」の発起人として、千葉県フードバンク協会代表理事として活動している。佐藤氏は「フードバンクちば」の発起人として、千葉県フードバンク協会代表理事として活動している。

## 国内の「食品ロス」年間500〜900万トン

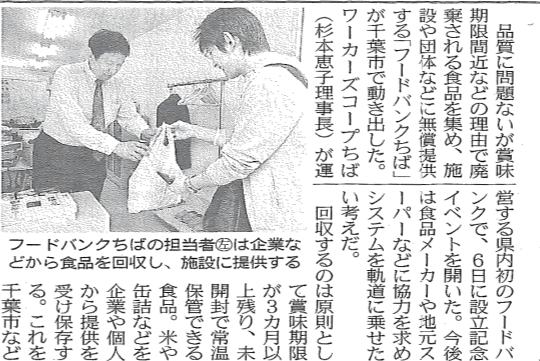
まだ食われるのに廃棄される「食品ロス」は国内全体で推計年間500万〜900万トンにも上る。フードバンクの取り組みには無数の廃棄や環境への負荷を減らす目的もあり、農水省も推奨している。ただ、トラブルの際の責任を誰がとるのかといった点や、食品が販売される可能性などを理由に協力が慎重な業者も多い。

千葉県食糧庁によると、500万〜900万トンの食品が廃棄されている。フードバンクは、廃棄される食品を回収し、福祉施設や生活困窮者へ無償提供する仕組みだ。千葉県では、千葉県フードバンク協会が中心となり、千葉県フードバンクちばが設立された。

キックオフイベントの取材を通し、『フードバンクちば』について千葉日報（平成24年6月7日付）に掲載されました。

平成24年5月23日NHK千葉FM「ひるどき情報ちば」に出演し『フードバンクちば』について紹介していただきました。

## 「フードバンク」始動



品置に問題ないが賞味期限が近いなどの理由で廃棄される食品を集め、施設や団体などに無償提供する「フードバンクちば」が千葉県で動き出した。システムを軌道に乗せた「フードバンクちば」の運営を率先する特定非営利活動法人のセカンドハーベスター・ジャパン（NPO法）が中心となり、千葉県フードバンク協会が設立された。

千葉県食糧庁によると、500万〜900万トンの食品が廃棄されている。フードバンクは、廃棄される食品を回収し、福祉施設や生活困窮者へ無償提供する仕組みだ。千葉県では、千葉県フードバンク協会が中心となり、千葉県フードバンクちばが設立された。

## 「よりそいホットライン」より

県内在住で生活保護を受給しているが、現在、残金400円で食べるものが無い。次回支給日まで2週間の食品として、米、コーンフレーク、インスタントラーメン、スープの素、そうめんなどを宅急便で送る。

千葉県食糧庁によると、500万〜900万トンの食品が廃棄されている。フードバンクは、廃棄される食品を回収し、福祉施設や生活困窮者へ無償提供する仕組みだ。千葉県では、千葉県フードバンク協会が中心となり、千葉県フードバンクちばが設立された。

## 『フードバンクちば』の現場を丁寧に取材していただきました。

千葉県食糧庁によると、500万〜900万トンの食品が廃棄されている。フードバンクは、廃棄される食品を回収し、福祉施設や生活困窮者へ無償提供する仕組みだ。千葉県では、千葉県フードバンク協会が中心となり、千葉県フードバンクちばが設立された。

千葉県フードバンクちばの発起人は、千葉県フードバンク協会代表理事の佐藤隆夫氏。佐藤氏は「フードバンクちば」の発起人として、千葉県フードバンク協会代表理事として活動している。佐藤氏は「フードバンクちば」の発起人として、千葉県フードバンク協会代表理事として活動している。

## 『フードバンクちば』のスタートに先立ち、活動の詳細が朝日新聞(平成24年5月2日付)に掲載されました。

千葉県食糧庁によると、500万〜900万トンの食品が廃棄されている。フードバンクは、廃棄される食品を回収し、福祉施設や生活困窮者へ無償提供する仕組みだ。千葉県では、千葉県フードバンク協会が中心となり、千葉県フードバンクちばが設立された。

千葉県フードバンクちばの発起人は、千葉県フードバンク協会代表理事の佐藤隆夫氏。佐藤氏は「フードバンクちば」の発起人として、千葉県フードバンク協会代表理事として活動している。佐藤氏は「フードバンクちば」の発起人として、千葉県フードバンク協会代表理事として活動している。

## 個人支援も始まりました！

### 個人支援については、基本的に公的及び民間の相談機関等を通じて行います。

フードバンクちばでは、食品を必要とする団体とあわせて、困窮した個人の支援も行います。すでに行った支援についてご紹介します。

#### 「ちばライフサポートセンター」より

「ちばライフサポートセンター」より、車上生活をしている方の生活保護申請を支援しているが、当面の食品が必要との依頼。すぐに食べられるものをライフサポートセンターの方に手渡す。



70代男性

#### 弁護士さんより

千葉県弁護士会のN先生より、自己破産の手続き中の方で社会福祉協議会のつなぎ資金の借入れが出来までの食品支援の依頼。お米、お茶、お中元の海苔やふりかけ、醤油などお菓子を弁護士事務所の方に渡す。



60代女性

#### いんば中核地域生活支援センター「すけっと」より

病気で退職後正規の仕事に就けず、生活保護申請をしたが却下となった。現在、再申請を考えているが、つなぎの生活資金を社協より借りるまでの食品支援の依頼。即日宅急便で米、ツナ缶、お茶、お菓子など送る。



50代男性

#### 「よりそいホットライン」より

県内在住で生活保護を受給しているが、現在、残金400円で食べるものが無い。次回支給日まで2週間の食品として、米、コーンフレーク、インスタントラーメン、スープの素、そうめんなどを宅急便で送る。



30代男性

## 西千葉でフードドライブを開催しました！

### 「フードドライブ」をご存知ですか。

第1回フードドライブ@西千葉  
フードバンクにご協力ください。

ご家庭に眠っている食品大募集！  
5/28(月)~6/1(金)  
10:00~17:00  
回収場所：フードバンクちば

フードバンクとは  
フードバンクとは、食糧の生産から消費までの過程で発生する食品ロス（賞味期限が近い食品や、賞味期限が過ぎた食品）を回収し、福祉施設や生活困窮者へ無償提供する仕組みです。

寄りたい食品  
 穀類（お米、麺類、小麦等）  
 保存食品（缶詰、瓶詰等）  
 調味料各種、食用油  
 インスタント食品・レトルト食品  
 飲料（ジュース、コーヒー、お茶等）  
 乾物（のり・豆など）  
 ギフトパック（お歳暮、お中元等）

回収についての詳しい説明は裏面をご覧ください。

「フードドライブ」とは、家庭で余っている食べ物を学校や職場などに持ち寄り、それらをまとめて地域の慈善団体や施設、フードバンクなどに寄付する活動です。ここ数年、日本でも少しずつフードドライブが広まってきています。フードバンクちばでは、地域にフードバンクを広めるといった意味も含めて5月28日（月）～6月1日（金）に総武線西千葉駅を中心とした地域でフードドライブを開催しました。地元を歩いてまわり、個別にチラシをポスティングさせていただきました。まだまだこれからの活動ですが、わざわざ足を運んでくださったみなさま本当にありがとうございました。



フードドライブでご寄付いただいた食品の一例

## ソニーイーエムシーエス（株）より飲料水を寄贈していただきました。

木更津市潮見にあるソニーイーエムシーエス（株）木更津サイト様より災害備蓄品の入れ替えに伴い、飲料水2ℓ×6本×60箱をご提供いただきました。この飲料水は、震災の津波により壊滅的な被害を受け、今なお福島第一原発の事故による放射能の拡散で漁業も農業も行うことが難しい福島県相馬市の方々への支援物資として使用する予定です。詳細は次号にてご報告させていただきます。